

令和4年度農林水産予算概算決定の概要を公表しました。

概要については、以下の URL からご覧ください。(農林水産省ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r4kettei.html>

◆国内産農産物の銘柄設定等に係る意見聴取会の結果について

農産物検査に関する基本要領(平成21年5月29日付け21総食第213号総合食料局長通知)及び国内産農産物銘柄設定等申請手続マニュアルに基づき、近畿農政局管内における令和4年産国内産農産物の銘柄設定等に係る申請があった滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び和歌山県において意見聴取会を開催しました。

開催府県の意見聴取会の内容について、議事録によりお知らせしていますので、以下の URL からご確認ください。

詳しくはこちら (近畿農政局ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/kinki/syokuryo/syuhiryutsu/komekensa/meigarasetteiketuka.html>

◆渋谷駅・梅田駅でニッポンフードシフトの大型屋外広告を展開

新たな国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」では、取組の一環として、令和4年1月17日(月)から23日(日)までの1週間、渋谷駅(東京)と、梅田駅(大阪)で、日本の食を支える現場で働く若者たちを紹介する大型の屋外広告を展開します。

付近へ足を運ぶ機会がありましたら、ぜひご覧ください。

【屋外広告展開場所】

- 東京：田園都市線渋谷駅 地下2階道玄坂改札付近通路(約22m)
- 大阪：阪急梅田駅 1階C通路ムービングウォーク沿い(約44m)

この企画は、北海道から沖縄まで各地の新聞社との連携により、農林水産業や食品関連事業の現場への取材を通じて、そこで働く次代を担う若者たちの思いを広く知っていただくために展開した新聞広告(令和4年1月10日、計55紙に掲載)と連動するものです。

先日掲載された全国各紙の記事広告は、ニッポンフードシフトの公式サイトで閲覧可能ですので、こちらもぜひご覧ください。

【ニッポンフードシフト公式サイト】

<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/47prefectures/>

2.お知らせ

<募集・案内>

◆「スマート農業産地形成実証」公募開始！

「スマート農業実証プロジェクト」は、ロボット、AI、IoT などのスマート農業技術を実際に生産現場に導入し、農業経営への効果等を明らかにする実証事業です。

この度、令和 3 年度補正予算による「スマート農業産地形成実証」につきまして、4 日 12 時（正午）に事業実施主体である農研機構において、実証地区の公募を開始しました。（公募〆切は、2 月 7 日 12 時（正午））

農研機構 HP：https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/145371.html

農林水産技術会議 HP：https://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/kobo/r4/index.htm

今回の公募では、作業集約(※1)又はシェアリング(※2)によりスマート農業技術の効率的な活用に産地ぐるみで取り組む実証を公募いたします。

※1 中核農家がスマート農機を保有するとともに、中小農家からの作業集積を行う取組や、集落営農組織が土地集積も含め、スマート農機、オペレータ、土地利用を産地単位で一元化する取組等

※2 産地に密着した組織がスマート農機を保有し、農業者とともに営農計画からシェアリング計画を作成することで最適な利用調整を行う取組や、生育予測と組み合わせることで収穫機等の利用時期が限定的なスマート農機でも最小限の台数で運用する取組等

（注）生産現場のスマート化を加速するために必要な農業技術の開発・改良または輸出拡大のための新技術開発にかかる提案公募型事業（「戦略的スマート農業技術等の開発・改良」（令和 3 年度補正予算））は、生物系特定産業技術研究支援センターから 1 月中旬より別途公募いたします。

また、令和 4 年度当初予算による「スマート農業産地モデル実証（ローカル 5G）」、「ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証」の公募開始日については、農研機構のウェブサイトですぐお知らせいたしますので、ご確認をお願いいたします。

お問い合わせ先

<農林水産省>農林水産技術会議事務局研究推進課

TEL：03-3502-7437 E-mail：smart_agri@maff.go.jp

<農研機構>スマート農業実証事業推進室

E-mail：R4-Teishutsu@naro.affrc.go.jp

◆インボイス制度の開始に関する農業者、食品関連事業者、関連団体等向け Web 説明会等の開催のご案内（無料）

消費税の軽減税率制度の実施に伴い、令和 5 年 10 月 1 日から消費税の適格請求書等保存方式（いわゆるインボイス制度）が導入されることとなっています。

インボイス制度においては、消費税の仕入税額控除のためにインボイスの保存が必要になり、インボイスの交付を行うためには登録申請が必要となります。

制度を理解していただき準備や対応を行っていただくにあたり、以下のとおりWebexによる農業者、食品関連事業者、関連団体等向け説明会を開催しますので、以下のリンク先より是非お申込み下さい。

また、併せてグループでの説明会についてもご希望がございましたら、お申込み下さい。

【開催日時】 令和4年2月1日（火） 10時30分～（1時間）

13時10分～（1時間）

令和4年2月9日（水） 10時30分～（1時間）

13時10分～（1時間）

【講師】 大阪国税局 課税第二部 消費税課 担当官

【内容】 適格請求書等保存方式（インボイス制度）の概要、質疑応答

【定員】 各回1000名

【申込方法】 以下のURLより必要事項を記載の上お申し込み下さい。

お申込み後に接続するURL、資料の案内を行います。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/20220201inbo.html>

※申込締め切り：開催日の前日

個別説明会開催案内

【申込方法】 以下のURLより必要事項を記載の上お申し込み下さい。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/20220201inbokobetu.html>

【お問合せ先】 近畿農政局企画調整室

担当者：南嶋、瀧脇、村上

ダイヤルイン：075-414-9037

参加申込方法等詳細は、以下の近畿農政局HPをご覧ください。（プレス）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kikaku/220113.html>

◆近畿農政局「消費者の部屋」特別展示スケジュールのお知らせ（令和4年1月～3月）

近畿農政局では、消費者をはじめとした国民の皆様へ情報を提供するため「消費者の部屋」を開設し、農林水産行政や食料消費・食生活などをテーマとした展示等を行っています。

今回は、令和3年度第4四半期（1月～3月）に開催する特別展示のスケジュールをお知らせします。

お近くにお越しの際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

なお、ご来場の際は、新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用や手指消毒へのご協力に加え、発熱や咳・くしゃみ、体調不良等の際は、ご来場をお控えいただきますよう、お願いします。

【展示スケジュール】

○近畿農政局 1 階「消費者の部屋」特別展示コーナーでの展示（展示期間とテーマ）

- ・1月14日（金曜日）～2月3日（木曜日） もっと知りたい！お米・米粉の魅力
- ・2月4日（金曜日）～2月15日（火曜日） フラワーバレンタイン
- ・2月16日（水曜日）～3月9日（水曜日） 地理的表示（GI）保護制度
- ・3月10日（木曜日）～3月31日（木曜日） 食品トレーサビリティとは～食品の移動を把握できること～

○他の会場での展示（展示期間とテーマ、展示場所）

・1月11日（火曜日）～1月17日（月曜日） 食育ピクトグラムをご存じですか？ ～みんなで食育を推進しよう！～

サンサ右京 1 階「区民ロビー」 京都市右京区太秦下刑部町 12

・1月21日（金曜日）～1月27日（木曜日） 知ってる？日本の食料事情 ～日本の食料自給率・食料自給力～

京都堀川下長者町郵便局「展示コーナー」 京都市上京区西堀川通出水上る栴屋町 1

・2月7日（月曜日）～2月14日（月曜日） 地理的表示（GI）保護制度

サンサ右京 1 階「区民ロビー」 京都市右京区太秦下刑部町 12

・2月9日（水曜日）～2月15日（火曜日） フラワーバレンタイン

京都堀川下長者町郵便局「展示コーナー」 京都市上京区西堀川通出水上る栴屋町 1

・2月22日（火曜日）～3月7日（月曜日） もっと知りたい！お米・米粉の魅力

ヘルスピア 21 1 階「エントランスホール」 京都市南区西九条南田町 1-2

・3月14日（月曜日）～3月18日（金曜日） 植物検疫ってなあに？ ～日本の農業を守るために～

サンサ右京 1 階「区民ロビー」 京都市右京区太秦下刑部町 12

※展示期間、テーマ等は、変更する場合があります。

詳しくは近畿農政局ホームページ「消費者の部屋」をご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/syouhi/seikatu/tenji/index.html>

◆農林水産省共通申請サービス（eMAFF）のご案内

農林水産省は、所管する法令に基づく申請や補助金・交付金の申請をオンラインで行うことができる農林水産省共通申請サービス（通称：eMAFF）を整備し、令和3年9月時点で、900を超える手続のオンライン化が完了しております。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/dx/emmaff.html>

農林水産省共通申請サービス（eMAFF）はこちら（外部リンク）

<https://e.maff.go.jp/GuestPortal?ec=302&startURL=%2Fs%2F>

<ジェットロからの案内>

ジェットロより、見本市ジャパンパビリオン出品者募集・募集期間延長、および酒類事業者対象オンライン商談会（国税庁受託事業）のご案内です。

◆見本市ジャパンパビリオン出品者募集・募集期間延長のご案内

【Summer Fancy Food Show (SFFS)（米国・ニューヨーク）ジャパンパビリオン】

米国・ニューヨークにおいて開催される「Summer Fancy Food Show 2022」は、米国東海岸最大級の高級食品見本市で、情報の発信都市ニューヨークで開催されることもあり知名度も高く、北米市場での販路開拓を目指す方にお勧めの見本市です。

□概要

◇会 期：2022年6月12日（日）～14日（火）

◇会 場：The Jacob K. Javits Convention Center

◇主催者：Specialty Food Association

◇出品料：一般料金：1小間 42万円

補助あり料金（中小企業等料金）：1小間 21万円

◇有望商品

オーガニック食品／グルテンフリー食品／ビーガン向け食品／非遺伝子組換え食品／調味料・ドレッシング・ソース類／菓子類／麺類／茶／その他加工品（ゆず製品等）

※ 当該商品以外のご出品も可能です。

※ 制度上、米国へ輸入可能なものに限ります。

◇募集対象

日本・米国間の渡航規制に関わらず、準備日及び会期の全日程で会場の自社ブースに常駐できる企業（米国に現地法人、代理店又は代理人等を有している企業等）に限ります。

□お申込み方法等、詳細は以下よりご確認ください。

<https://www.jetro.go.jp/events/afb/0b0d18755a649f8f.html>

□募集締切：2022年1月24日（月）23時59分

※本事業は農林水産省補助事業として実施します。

□お問合せ先：

ジェットロ農林水産・食品事業推進課（担当：河浦、石黒）

E-mail：afb-sffs@jetro.go.jp

Tel：03-3582-5546

【Seafood Expo Global 2022（スペイン・バルセロナ）ジャパンパビリオン募集期間延長】

スペイン・バルセロナで開催される「Seafood Expo Global 2022」は、世界三大水産見本市の一つとされ、欧州最大の水産専門見本市で、欧州市場への販路開拓を目指す我が国企業等にとって効果的な見本市です。

□概要

◇会 期：2022年4月26日（火）～28日（木）

◇会 場：Fira de Barcelona

◇主催者：Diversified Communications

◇出品料：一般料金：1小間 53万円

補助あり料金（中小企業等料金）：1小間 26万5千円

◇有望商品：

- ・ハマチ（ブリ）、ホタテ、マグロ類、サバ
- ・寿司用商材として使える水産物・水産加工品
- ・中食・内食向け商品（調理の簡単な商品、缶詰や冷凍品等）
- ・持続可能性に強みのある商品（水産エコラベル取得済み商品）
- ・GFSI 認証取得済み商品

※ 制度上、欧州へ輸入可能なものに限りです。

◇募集対象

日本・スペイン間の渡航規制に関わらず、準備日及び会期の全日程で会場の自社ブースに常駐できる企業（欧州に現地法人、代理店又は代理人等を有している企業等）に限りです。

□お申込み方法等、詳細は以下よりご確認ください。

<https://www.jetro.go.jp/events/afb/6b9aa7bf0fe2c8ac.html>

□募集締切：2022年1月17日（月） 23時59分

※本事業は農林水産省補助事業として実施します。

□お問合せ先：

ジェトロ農林水産・食品事業推進課（担当：河浦、石黒）

E-mail：afb-seg@jetro.go.jp

Tel：03-3582-5546

◆酒類事業者対象オンライン商談会（国税庁受託事業）のご案内

国税庁（実施：ジェトロ）は、輸出を目指す酒類事業者の皆様へ海外バイヤーとの商談機会を提供すべく、今後の輸出拡大が期待されるフロンティア地域のバイヤーとの日本産酒類輸出オンライン商談会を実施します。

第1弾としてスイスのバイヤーとの商談会を実施します。皆様からのご応募をお待ちしています。

※国税庁事業として、今年度2月～3月に米国・ポーランド・バルト三国でも商談会を実施予定です。詳細は決まり次第ご案内します。

□概要

- ◇実施日 : 2022年2月21日(月)～28日(月)
- ◇商談方法: オンライン商談
- ◇対象国 : スイス
- ◇対象品目: 日本産酒類全般(日本酒、焼酎・泡盛、ウイスキー、ジン、ビール等)
- ◇募集対象: 日本産酒類事業者・団体
- ◇参加費 : 無料
- ◇参加予定バイヤー: 以下5社
 - ・UCHITOMI: スイス最大の日本食専門輸入卸・小売業者。
 - ・YUMI HANA: チューリッヒとバーゼルの好立地に店舗を構える輸入卸・小売業者。
 - ・Nishi Japan: チューリッヒで小売店と日本食レストランを運営する輸入卸・小売業者。
 - ・Silverbogen: スイス最大規模の蒸留酒専門輸入卸。ドイツにも販路を持つ。
 - ・FiGee Fine Goods: 高級酒類専門輸入卸。ハイエンドなホテルやレストランに販路を持つ。

□詳細・お申し込み

<https://www.jetro.go.jp/events/afg/0554a97659e04be1.html>

□お申し込み締め切り: 2022年1月11日(火) 12:00

□お問い合わせ

ジェット口農林水産・食品戦略的商流構築課(中村、花輪、伊藤)

TEL: 03-3582-8348

E-mail: afg_event@jetro.go.jp

3. フォトレポート

◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々などをホームページで写真により紹介しています。

◇京都府福知山市 毛原の棚田ワンダービレッジプロジェクト

～「1000年続く里づくり」を目指して～

近畿「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第5回)選定証授与式を開催

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/Kehara211223.html>

◇大阪府千早赤阪村 「ほまるさんのいちご園(屋号)」棟田 真(むねた まこと)氏

南河内産いちごを盛り上げるため活躍する生産者

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/osaka/2021photo/6_homaru/homaru.html

◇大阪府枚方市 株式会社カンパイカンパニー代表取締役光延 具視(みつのぶ ともみ)氏、ひらかた独歩ふぁーむ代表大島 哲平(おおしま てっぺい)氏

クラフトビールで地域の活性化を目指す取組

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/osaka/2021photo/5_kanpai/kanpai.html

◇兵庫県新温泉町 海上区（海上営農組合、海上元気村組合）

近畿『ディスカバー農山漁村（むら）の宝』選定証の授与式を開催しました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/202201-1.html

◇奈良県下市町 NPO 法人どろんこ畑

近畿「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第5回）選定証授与式を開催しました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/nara/photo_2022/report_20220101.html

◇奈良県香芝市 縄田 多賀司氏

「大和マイタケ」で地域の特産品を確立

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/nara/photo/photo_2021/report_20211202.html

◇和歌山県みなべ町 わかやま農業女子ネットワーク（わ女子ネット）

わかやま農業女子ネットワーク交流会を開催しました

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/wakayama/photo/img/20211217wajyoshi/wajyoshi.html>

◇和歌山県有田川町 有田川町×龍谷大学「ぶどう山椒の発祥地を未来へつなぐプロジェクト」

近畿「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第5回）選定証授与式開催

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/wakayama/photo/img/20211220kinkidhisukaba/aridagawacyo.html>

4. きんき食と農デジタルミュージアム

◆伝えたい光景がある～きんき食と農デジタルミュージアム

近畿農政局管内の食と農の魅力を動画で発信するサイトです。

◇近畿の「BUZZMAFF（ばずまふ）」

職員自らが、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。

→ 1月28日（金）京都アグリびと「聖護院だいこん、かぶを取穫（仮）」を配信予定。

◇「農」に関する動画

近畿農業に関する最新のニュースや最先端の技術、近畿ならではの農業などを動画でご紹介します。

◇「風景」に関する動画

近畿ならではの風景を動画で紹介します。

◇「食」に関する動画

米粉を使ったレシピなど「食」に関する動画を紹介します。

きんき食と農デジタルミュージアムはこちら(近畿農政局ホームページ)

<https://www.maff.go.jp/kinki/video.html>

5.統計情報

◆令和2年農業産出額及び生産農業所得（近畿）

令和2年農業産出額及び生産農業所得について、近畿の結果を取りまとめましたのでお知らせします。

【統計結果の概要】

令和2年における近畿の農業産出額は、4,551億円（前年に比べ2.2%減少）となりました。各府県の農業産出額は、滋賀県で619億円（同4.3%減少）、京都府が644億円（同3.3%減少）、大阪府が311億円（同2.8%減少）、兵庫県が1,478億円（同2.1%減少）、奈良県が395億円（同2.0%減少）、和歌山県が1,104億円（同0.5%減少）となっています。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2021.html#1224>

∞*編集後記*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞*∞

かって、SF小説や漫画の中で描かれていたものが、21世紀の現代で、どんどん現実のものとなっています。

工場では産業用ロボット、家庭ではお掃除ロボットが人間の代わりに働いており、農業の分野でも、「スマート農業」を取り入れ省力化を図る農業者、団体があります。

この度、「スマート農業産地形成実証」の公募が開始されました。

広域的で複数の経営体からなる産地をあたかも一つの経営体のように捉え、生産から営農・労務管理、販売までの各段階の課題に対して、産地ぐるみでスマート農業技術を導入することにより、産地が更に発展することを期待します。

（※編集後記の文責については筆者にあります。）

■□.....■

☆配信停止、メールアドレス等変更には

御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をお願いします。

☆配信中止・配信メールアドレスの変更・バックナンバーの閲覧は、

⇒ <http://www.maff.go.jp/kinki/pr/mmg/index.html>

☆近畿アグリレターに関するご意見・ご要望は、

⇒ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/1209.html>

までお願いします。

編集・発行：近畿農政局 企画調整室

〒602-8054 京都府京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

電話：075-451-9161（内線 2017） FAX：075-414-9060

